

授業科目の区分等：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	4年	2	必修
担当教員			
田中 敬幸			

授業のねらい（概要）	卒業論文の作成指導を中心に進めます。皆さんの進捗状況に応じてアドバイスをしていきます。進捗状況の発表や中間発表などを予定しています。論文の作成を通して、情報収集力、情報を整理する力、データを読み取る力、データから論理的に説明する力を養います。
授業計画	<p>第1回 【遠隔】卒業論文とは 卒業論文に求められる要件について、また論文とはについて学ぶ 予習 配布資料を読んでくる (120分) 復習 先行研究を参考にしてテーマを考える (120分)</p> <p>第2回 【遠隔】論文とエッセーの違いについて 論文とエッセーがどう違うのかについて学ぶ 予習 先行研究を参考にしてテーマを絞り込む (120分) 復習 テーマに関連する論文を検索する (120分)</p> <p>第3回 【遠隔】資料の検索方法 論文に使用する根拠となるデータやケースの調べ方について学ぶ 予習 Google scholarで論文を検索する (120分) 復習 実際に資料を検索する (120分)</p> <p>第4回 【遠隔】論文の参考にできる資料とは 論文で使用することのできる資料とできない資料の違いについて学ぶ 予習 論文で使用する資料を収集する (120分) 復習 今まで集めた資料の精査 (120分)</p> <p>第5回 卒業論文のテーマを決める 卒業論文のテーマについて発表し、指導を受ける 予習 卒業論文のテーマを考えて、概要を発表できるように準備する (120分) 復習 卒業論文のテーマについて考え、必要な資料を収集 (120分)</p> <p>第6回 文献の収集・整理 文献の収集の仕方、整理の仕方について学ぶ 予習 今まで集めた文献を整理する (120分) 復習 必要なデータを収集する。インターネットだけでなく、図書館等に足を運ぶ (120分)</p> <p>第7回 先行研究とは 先行研究の概念について学ぶ 予習 卒業論文の執筆 (120分) 復習 卒業論文の執筆 (120分)</p> <p>第8回 先行研究の整理 収集した先行研究をどのように研究に生かすのかについて学ぶ 予習 卒業論文の執筆 (120分) 復習 卒業論文の執筆 (120分)</p> <p>第9回 論文の構成 論文の章立てや構成について学ぶ 予習 卒業論文の執筆 (120分) 復習 卒業論文の執筆 (120分)</p> <p>第10回 論文の目的について 論文の目的を設定し、章立てを決定していく 予習 卒業論文の執筆 (120分) 復習 卒業論文の執筆 (120分)</p> <p>第11回 論文の仮説、問題意識、背景 設定した論文のテーマについて仮説、問題意識、背景を定める 予習 卒業論文の執筆 (120分) 復習 卒業論文の執筆 (120分)</p> <p>第12回 文献の引用方法 論文に使用するデータや資料の引用方法について学ぶ 予習 卒業論文の執筆 (120分) 復習 卒業論文の執筆 (120分)</p> <p>第13回 【課題】発表資料の作成 卒業論文のはじめに該当する部分を発表できるようプレゼンテーション用の資料を作成する 予習 卒業論文の執筆 (120分) 復習 発表資料の作成 (120分)</p> <p>第14回 【課題】中間発表① 中間発表を実施します 予習 発表資料の作成 (120分) 復習 卒業論文の執筆 (120分)</p> <p>第15回 【課題】中間発表② 中間発表を実施します。 予習 発表資料の作成 (120分) 復習 卒業論文の執筆 (120分)</p>

授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	DP(商学部) の以下の項目を意識した科目となっている。 広く深い教養や人間理解、地域に対する知見に裏付けられた、情報活用能力、判断力、コミュニケーション能力を持ち、地域社会や会社組織の中で、主体的に問題解決に取り組むことができる  【身に付くスキル】 「課題解決力」「創造的思考力」
到達目標	①卒業論文の内容について、他の人にわかりやすくプレゼンテーションをすることができる。 ②卒業論文を完成させる
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出された、レポート等は授業の中でフィードバックする
履修上の注意	毎回、卒業論文の進捗状況の確認を行いますので、授業は必ず出席してください。欠席5回で履修放棄とみなします。
成績評価の方法・基準	中間発表 (30%) その他 (発表、ディスカッション等) (20%) 卒業論文 (50%)
教科書	
参考書・教材	【教材】レジュメを配ります。
備考	2020年度は、10、14、15回を課題研究として学修する。  第10回 「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」を代替する資料の配信、および作業指示をmellyなどで行い、調査結果の章レポート作成や提出は当初シラバス通りに実施する。全体で330分の学習を想定している。 第14回 第10回同様の実施として、授業中に指示を行う。全体で330分の学習を想定している。 第15回 第10回同様の実施として、授業中に指示を行う。全体で330分の学習を想定している。
教員との連絡方法	メール (授業中に指示します)